

2025年11月7日
イオンタウン株式会社

「山口県立 周南総合支援学校」さまへ イオン社会福祉基金より車いす・ボッチャセットを贈呈 11月6日(木)に贈呈式を開催

イオンタウン株式会社（本社：千葉県千葉市、代表取締役社長：加藤 久誠、以下：当社）は、2025年11月6日（木）、「山口県立 周南総合支援学校」さま（山口県周南市）に、イオン社会福祉基金より電動車いす1台、ボッチャセット1セットを贈呈いたしました。

イオン社会福祉基金は、イオンタウン株式会社をはじめ、イオングループ各社の労使が協調して地域社会へ奉仕するという理念のもと、障がい者の自立と社会活動への参加を促進し、福祉の増進を図ることを目的に、1977年に設立しました。この度、イオン社会福祉基金から寄贈する車いすやボッチャセットは、支援学校の生徒さまにご活用いただくために、お渡しいたします。同市内で「イオンタウン周南」「イオンタウン周南久米」を運営する当社は、贈呈式および、生徒の皆さまとのボッチャ体験会を開催いたしました。

当社は、これからも共生社会の実現に向け、ボランティア活動やパラスポーツの普及活動を行ってまいります。



11月6日 山口県立周南総合支援学校での寄贈式の様子

■贈呈式の概要について

1. 開催日時：2025年11月6日（木） 12：55～13：25
2. 場所：山口県立周南総合支援学校 体育館
（住所：山口県周南市久米761）
3. 贈呈先：山口県立周南総合支援学校
4. 贈呈品：電動車いす1台、ボッチャセット1セット
5. 次第：12：55～13：10 寄贈品贈呈式

寄贈者挨拶 イオンタウン株式会社 西日本事業部長 桑原 弘樹
目録贈呈 イオンタウン株式会社 西日本事業部長 桑原 弘樹より
山口県立周南総合支援学校 校長 古川 智也さまに贈呈
ご挨拶 山口県立周南総合支援学校 校長 古川 智也さま
記念撮影

13：10～13：25 ボッチャ体験会

以上

ご参考

イオン社会福祉基金

イオン社会福祉基金は、グループの労使が協調して地域社会へ奉仕するという理念のもと、障がい者の社会活動への参加を促進し、福祉の向上を図ることを目的に1977年9月に設立されました。同基金には2024年12月末時点で、イオングループ115社、約7万6,600人が加盟しており、労使双方が従業員一人あたり毎月50円ずつ（労使双方で100円）積み立てて運営しています。基金設立以来、障がい者の方々の社会活動への参加支援として、障がい者福祉施設・団体へのボランティア活動・寄贈や、福祉車両の贈呈などを行っているほか、2022年からはパラトスポーツ（ボッチャ）の普及活動にも取り組んでいます。

山口県立 周南総合支援学校

「山口県立 周南総合支援学校」さまは、1979年に開校した特別支援学校です。肢体不自由教育の中核校として、地域の特別支援教育を推進する役割を担っています。学校の教育目標は「自分の特性を理解し、自ら学ぶ力を育み、地域・社会と共に学び合う教育を推進する」です。この目標のもと、児童生徒一人ひとりの自立と社会参加を支援しています。さらに「地域と共にある学校」として、家庭や地域社会と密に連携し、共生社会の実現を目指して質の高い教育に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

当社では、2030年までに取り組むべき地球規模の17の目標“SDGs”に向けて、全社を挙げて取り組んでいます。
今回の取り組みが該当する開発目標は、右図の通りです。

